

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	今年度に向けては地域の代表者の方も会議に参加できるように調整を図り、より充実した会議になることを期待します。	今年度も引き続き運営推進会議は対面開催で行い、ご家族様、関係医療機関、地域包括支援センターや地域の自治会の方に参加を呼びかけ、多職種連携を図っていく。	運営推進会議にて日々の施設状況を報告し、参加者の皆様から1人ずつ意見を頂く機会を作る。また施設外での地域の情報収集も会議を通して共有させていただく。	3ヶ月
2	6	身体拘束適正化委員会において、例えば離床センサーを使用しているケースでは適切な使用が来ているかなどについても確認して関係者へ報告できると良いと思います。	3カ月に1回身体拘束適正化委員会の開催を行い、お客様の身体状況やケア方針について共有、不適切ケア0を実現していく。	左記のとおり委員会開催時にお客様の身体状況やケアにおいて不適切だと感じることや対応策について話し合い、不適切ケア撲滅を図る。また離床センサーの使い方や置く位置等安全面に配慮した対応方法については議論する。	3か月
3	35	作成を終えた事業継続計画(BCP)について、実際にBCPを発動した訓練などを通して職員の理解や意識をより深めていけると良いと思います。	年間研修計画に沿ってあらゆる災害に対して、訓練を行っていき職員の理解や意識を高める。	自然災害については火災・風水害・停電を想定した訓練を実施、備蓄品の提供も行っていく。感染症においては蔓延防止訓練を年2回実施する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。